

てる。この他の課題には、児童労働における HIV(エイズウイルス)/エイズの影響に対する取り組み、児童労働と若年雇用の問題をより強く結びつけることなどが挙げられる。

報告書は、ILOの三者メンバーを構成する政府及び労使団体を巻き込んだより大規模な国内的努力を呼びかける。さらに、児童労働を過去のものとするため、世界的な運動の強化も求める。2015年までに国連のミレニアム開発目標を達成することは、児童労働の撤廃を助長する、と報告書は記している。

地域別動向

報告書によれば、過去4年間で児童労働の数が最も急速に低下したのは**中南米・カリブ海地域**である。この間、地域の働く子どもの数は3分の2になり、今では仕事に従事している子どもは全体のわずか5%にすぎない。

報告書は、児童労働への取り組みを進める国の対策事例としてブラジルを挙げる。この国では、2004年に5~9歳の子どもの労働力率は1992年に比べて61%減、年長の10~17歳層で36%減を記録した。

児童労働が大幅に減少したもう一つの国はメキシコである。中南米の子どもの半数がメキシコかブラジルに住んでいるため、この減少は非常に重要であり、全体的な低下傾向が現実のものであることを証明する。

アジア太平洋地域でも経済活動に従事する子どもの数はかなり減ったと報告書は記す。しかしながら、子どもの人口も減ったため、働く子どもの割合はそれほど下がっていない。この地域では、依然として働く子ども(5~14歳)の数が世界で最も多く、約1億2,200万人いるとILOは推計する。

アジアは、貧困削減と教育拡充に向けた政治的公約が児童労働の撤廃にいかにも重要な意味を持つかを示す素晴らしい例である。しかしながら、世界全体ではまだ進歩にばらつきがある。

子ども人口の26%、または約5,000万人が働いている**サハラ以南アフリカ地域**は経済活動に従事している子どもの割合が世界で一番高い。報告書によれば、高い人口成長率、厳しい貧困、そしてHIV/エイズの流行が絡み合って、この地域の児童労働に対する闘いにおける進捗が妨げられている。

しかしながら、進展の兆候はある。例えば、地域の2000年の初等学校就学率は、1990年に比べて38%増を記録した。

報告書はまた、アフリカ大陸の窮状を表舞台に引き出し、世界の注目集めようとする国際的な運動に言及し、これはアフリカの児童労働との闘いに向けた機会の窓を開くものであると述べている。

「この21世紀の現代、子どもが残酷な搾取を受けたり、危険で有害な仕事に従事するよう強いられるべきではない。子どもが教育を受ける機会を否定されてはならない。子どもが自らの生存のために奴隷のように働くようなことがあってはならない。この機運を失わないようにしよう。子ども時代を享受するという全ての子どもの権利を求める闘いに力を注ぎ続ける決意をしようではないか」とソマビア事務局長は呼びかける。

* * *

児童労働撤廃国際計画（IPEC）は、児童労働撤廃にむけた世界最大の事業活動であり、稼働中の単一の事業計画としてはILOで最大のものである。1992年に開始されて以来、IPECの支出総額は3億5,000万ドルに上り、現在、年間支出は5,000万～6,000万ドルとなっている。政府、労使団体から構成されるILOの伝統的な三者構成を越えて、IPECは、民間企業、地域社会組織、非政府組織（NGO）、マスコミ、議員、司法、大学、宗教団体、そして当然のことながら、子どもとその家族と協力し合って活動を進めている。IPEC事業の成功には、国及び地域社会の活動がきわめて重要である。地方公共団体及び市町村を通じて、IPECは多くの雇用を提供しているインフォーマル経済と中小企業で働く子どもたちに手を差し伸べ、子どもを仕事から引き離し、学校に通わせる統合的なアプローチを推進している。

（注*）「仕事における基本的な原則と権利に関するILO宣言」のフォローアップ活動として、2006年の第95回ILO総会（ジュネーブ）に提出される報告書であるグローバル・レポート「The end of child labour: Within reach(児童労働のない世界:手の届く目標・英文)」。
以下のウェブサイトからPDF版をダウンロードできます。

<http://www.ilo.org/dyn/declaris/DECLARATIONWEB.INDEXPAGE>

（注**）現在、ILO加盟国の10カ国中9カ国までが1999年の最悪の形態の児童労働条約（第182号）を批准しているが、これは世界の子ども80%近くが暮らす地域に相当する。一方、1973年の最低年齢条約（第138号）批准国はILO加盟国の5カ国中4カ国になり、これは世界の子ども人口の60%以上が暮らす地域に相当する。